

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2003-15365 (P2003-15365A)
 【公開日】平成 15 年 1 月 17 日 (2003.1.17)
 【出願番号】特願 2002-136519 (P2002-136519)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 G 9/097
 G 0 3 G 9/08
 G 0 3 G 9/087
 G 0 3 G 9/10

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 4 6
 G 0 3 G 9/08 3 6 5
 G 0 3 G 9/08 3 7 2
 G 0 3 G 9/08 3 7 4
 G 0 3 G 9/08 3 7 5
 G 0 3 G 9/10
 G 0 3 G 9/08 3 3 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 3 月 1 日 (2005.3.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 7 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 7 1】

表 3 は、電荷特性は良好であるが擦り落ち性は低いトナーである実施例 1 の摩擦電気電荷と「飛散値」、および、擦り落ち性を改善するためのポリエチレンワックスと良好な摩擦電気特性を得るための複数の電荷剤とを用いて調製されたトナーの摩擦電気電荷と「飛散値」をまとめたものである。実施例 2 は擦り落ち性を改善する目的でワックスが添加されているが、高い 10' 電荷値と、実施例 1 よりも高い飛散値を有していた。実施例 7、8 および 9 は、2 種の電荷制御剤 (C C A)、すなわち 1.5 p p h の T 7 7 と 1.0 p p h の M P P の混合物を含有していた。これらの 10' 電荷レベルは実施例 2 よりも低かったが、所望の範囲である - 10 ~ - 30 $\mu C / g m$ 内ではなかった。これらの T - O 値は低く、比較対照である実施例 1 および 2 よりも良好であった。実施例 3、4、5 および 6 も、2 種の C C A、すなわち 1.5 p p h の T 7 7 および 2.0 p p h の M P P と、0.1 ~ 0.30 重量%のシリカ表面処理剤との混合物を含有していた。すべてのこれらのトナーの 10' 電荷レベルは、所望の範囲である - 10 ~ - 30 $\mu C / g m$ 内であった。実施例 3 はシリカ表面処理剤を含有しておらず、その 2' 電荷レベルは 10 よりも低く、飛散レベルは 10 よりも高く、共に所望の範囲外であった。これにシリカ表面処理剤を添加すると、2' 電荷レベルが上がり、T - O レベルが下がり、共に所望の範囲内の値となった。実施例 4、5 および 6 は、いずれも電荷レベルと T - O 値が所望の範囲内であった。